

法人の理念

聖書の教えに基づき、神さまから愛されている者として喜びと感謝の気持ちを持ち、自律的に生き抜く人間の育成に努める

1. 神と人を愛し隣人と共に平和を築く
2. 自然に親しみ、体を鍛え、与えられたいのちを大切に
3. 知恵と創造力を育み、一人一人に与えられた賜物を生かす

こひつじポスト

『こひつじポスト』は保育園に対してのご意見・ご要望の受付ポストです。いつでもご利用ください。

ご意見・ご要望の受付担当者 石田知子（主任保育士）
ご意見・ご要望の責任者 中辻邦子（施設長）

第三者委員 新田 将浩 古山 美穂 西端 恵子

★2024年10月度に園に寄せられた苦情はありませんでした。

食育クイズ

Q. 国産のアボカドは秋から冬に旬を迎え、「森の〇〇〇」と呼ばれています。〇〇〇とは何でしょう
① バター ② ミルク ③ チーズ

A. ① バター
脂質が多く濃厚な味わいから「森のバター」といわれています。ごつごつした表皮から、和名では「ワニナシ」と呼ばれています。
—こどもの栄養より—

収穫感謝祭

今年も保育園の収穫感謝祭では、神さまからいただいた秋の実りを園児たちが持ち寄り、感謝の礼拝を捧げます。礼拝の後、こどもたちがその日の昼食を作ります。月末には園庭で焚火をして、焼き芋をつくります。

*おねがい
野菜やくだもの、なんでも結構です。ご家庭に秋の実りがありましたら、前日か、当日の朝に保育園にお持ち寄りください。

これからの予定(2月まで)

- 12月21日(土) クリスマス礼拝
- 1月10日(金) おもちつき
- 1月15日(水) 園児内科検診<後期>
- 3月 1日(土) 保育参観「聖愛ミュージカル」
2025年度保育の説明会

★年末年始の保育について

12月30日(月)～1月3日(金)は休園となっています。
今年度はじめに保護者の皆様には新年1月4日(土)の家庭保育のご協力をすでにお願ひしております。ご理解ご協力を重ねてお願いいたします。



<年主題> さあ、漕ぎだそう 奏でよう

<年主題聖句> わたしは道であり、真理であり、命である。
ヨハネによる福音書14:6
園だより

こひつじ 11月

2024年 11月 1日

<月主題聖句> 成長させてくださったのは神です

コリントの信徒への手紙Ⅰ 3:6

11月主題

たんぼぼルーム(0歳児) <<みつける>>

- *お祈りやさんびかを通して心地よさを感じる
- *興味、探求心が深まり、活動的になる
- *たくさん自然物に触れ、喜び

たんぼぼルーム・うさぎ組(1・2歳児) <<どれにしようかな>>

- *賛美や祈りを通して神さまを身近に感じて喜び
- *生活の中で、やりたいことにじっくり取り組み、関わり合う
- *神さまからのたくさんの恵みに感謝し触れて、遊びや生活の中に取り入れる

ひつじ組(3歳児) <<感謝しつづ>>

- *秋の実りや身の回りの生活に神さまの守りがあることを知り、ありがとうの気持ちが芽生える
- *友だちや保育者と一緒に何かになり切って遊ぶ楽しさを知る
- *果物の味、たきびの煙、落ち葉の色合いなど五感を通して秋を感じる機会をもつ

きりん・らいおん組 <<感謝しつづ>>

- *神さまがくださった恵みを礼拝や日々の生活の中で感謝する
- *友だちと遊ぶ中で思うようにならないことや自分とは違う思いがあることを経験する。また、相手を思っている行動をしようとする

おたんじょうびおめでとう!



名取りゆうきくん(1才)
カーガン・はなさん(1才)
ファン・パン・ニーさん(3才)
松田ことねさん(5才)
山中らいとくん(6才)
近添みわさん(6才)
新宅みつきさん(6才)

<11月の歌>

さんびか
♪ひとりひとりの
なをよんで
♪わたしたちの
たべるもの
♪はたけのおやさい
月の歌
♪まつぼっくり
♪もみじ
♪きのこ
♪まっかな秋

<<11月の予定>>

1	金		16	土	
2	土		17	日	
3	日	文化の日	18	月	
4	月	振替休日	19	火	
5	火	プラネタリウム見学(4・5歳児)	20	水	身体測定
6	水		21	木	体操(5歳児)
7	木		22	金	誕生日会
8	金		23	土	勤労感謝の日
9	土		24	日	
10	日		25	月	
11	月		26	火	秋のスポーツデー こひつじひろば
12	火	こひつじひろば	27	水	焼き芋パーティ
13	水		28	木	
14	木	収穫感謝祭 千代田中学職場体験	29	金	11月度定例職員会議
15	金	//	30	土	

「クリスマス」

『降誕日』と呼ぶよりクリスマスが一般的です。古い英語でキリストのミサという意味です。「ミサ」は礼拝のことですから、救い主イエス・キリストの誕生を喜び、礼拝をささげるといってしよう。

福音書の降誕物語はイエスの誕生日を記してはいません。では、どうして12月25日なのでしょう。4世紀頃から、教会ではこの日をクリスマスとしてお祝いするようになったといわれます。当時のローマには、太陽を神として崇拝する宗教があり、ローマ暦の冬至には盛大なお祭りをしました。北半球で夜が一番長い時に、太陽神の誕生を祝い、明るい光を待望したのです。その日が12月25日でした。

教会はキリストこそが「真の太陽・真の光」として、この日をイエス・キリストの誕生日として祝うようになりました。やがて、アドヴェント(待降節)の期間も守られるようになり、クリスマス前の4週間を色々な準備をしながら、当日を迎えるようになりました。クリスマスツリーや「降誕場面の模型(クレッシュ、クワイプ)」を飾って待ちます。

クリスマスは単なる「誕生祝い」ではありません。この出来事を通して示された神の大きな愛を信じ、イエス・キリストにより、神が私たちの只中で共にいてくださることを信じ受け入れることが大切です。こどもたちと共に、喜びと感謝をもってクリスマスを迎えたいものです。

キリスト教保育ハンドブック 教会暦 「クリスマス」より

11月に入ると 聖愛保育園ではクリスマスの讃美歌の練習やページェントの準備が始まります。今年も2～5歳児のクリスマス礼拝は河内長野教会の会堂で園児と保護者の皆様とともにクリスマスをお祝いしたいと考えています。また、たんぼぼルームの小さなこどもたちは25日に園でクリスマス礼拝を行い、それから大きなこどもたちとともに祝会に参加する予定です。



11月を迎え秋も深まってきました。今年は昨年以上に残暑が厳しかったので、ようやく秋がやってきた、という感じです。秋を楽しむ活動は11月、これからが本番となります。

キッズカーニバルにはたくさんの保護者、そしてご家族の皆様が参加くださり、嬉しく、楽しく感謝でした。園ではキッズカーニバルに向けての日々の活動の中でこどもたちと保育者が一緒に丁寧に準備を重ねてきました。心配したお天気も持ちこたえてくれて、神さまに守られ、お友だちと一緒に一人ひとりが自分らしさを表現できたことはこどもたちの大きな達成感と自信に繋がったと思います。保護者会の皆様にはキッズカーニバルの安全な開催に向けてご協力をいただきありがとうございました。

先月の職員研修の際には家庭保育や保育時間短縮などのご協力をいただきましてありがとうございました。おかげさまで、清教幼稚園の先生方と一緒に保育についての良い学びの時間をいただきました。こどもたちを真ん中に、学んだことをこれからの両園の保育に生かしていきたいと思っています。

聖愛ファミリー

～神さまの愛につつまれ育つ、たくましく思いやりのある子～
社会福祉法人泉カナン会 聖愛保育園